

# 目次

はじめに

## 第一章 発達障害とは

1 「広義の発達障害」と「狭義の発達障害」 .....	1
(1)「広義の発達障害」 .....	1
(2)「狭義の発達障害」 .....	1
2 さまざまな発達障害 .....	2
(1) 自閉症スペクトラム障害（広汎性発達障害：PDD） .....	2
ア「社会性の障害」	
イ「コミュニケーションの障害」	
ウ「想像力の障害」	
(2) 学習障害（LD） .....	3
(3) 注意欠陥多動性障害（ADHD） .....	3
ア「注意障害」	
イ「多動性」	
ウ「衝動性」	
(4) その他の発達障害 .....	3
ア 分離不安障害	
イ 社会不安障害	
ウ 発達性協調運動障害	
エ 場面かんもく	
オ 音いん障害	
カ 摂食障害	
キ 遺尿症・昼間遺尿症	
ク チック症	
3 発達障害のなぜ？ なぜ？ どうして？ .....	5
Q1 発達障害って、なに？	
Q2 どうして受診を勧められるの？	
Q3 子供自身には全く悪意はないのに、誤解されやすいんです・・・	
4 発達障害と二次障害 .....	7
5 日本の社会背景 .....	10

## 第二章 脳の働きと発達障害

1 脳の働き	1 1
2 発達障害児によく見られる脳機能の特徴	1 3
(1) 記憶の仕方に特徴がある	1 3
(2) 少しの変化に戸惑うことがある	1 4
(3) 刺激の感じ方が違う	1 5
(4) 探し物が苦手なことがある	1 6
(5) 感覚(視覚、触覚、聴覚)が過敏	1 7
(6) 耳で聞いた情報の整理が苦手	1 7

## 第三章 発達障害児に見られやすい行動特徴

1 愛着が育ちにくい	1 9
2 生活リズムが乱れやすいことがある	1 9
3 身辺自立が遅れやすいことがある	2 0
4 「仲良し」が上手くできないことがある	2 0
5 不安が強いことがある	2 1
6 かんしゃくや八つ当たりが強いことがある	2 1
7 やる気や関心があると能力倍増	2 1

## 第四章 家族支援

1 家族の安定が、子供の安定	2 2
2 具体的な家族支援とは?	2 3
(1) 揺れ動く保護者の気持ちに共感しよう	2 3
(2) 子供への具体的な対応方法を一緒に考えよう	2 4
3 家族に理解してもらうために	2 5
(1) 正論は、恐る恐る伝えよう	2 5
(2) 家族と一緒に考えよう	2 6
(3) 保護者の特徴を理解した対応をしよう	2 6

## 第五章 子供と家族を支える「地域力」～地域関係機関の連携による支援～

1 発達障害児と家族を支える各関係機関	2 7
2 どうしたら良いか迷った時は・・・	2 8
3 「3つの移行」とは	2 9

## 事例集

1 支援の道すじ	34
2 事例	
事例1 お母さんから離れられなくて泣く子供	35
事例2 お散歩中に固まる子供	37
事例3 運動が苦手な子供	39
事例4 おとなしい子供	41
事例5 パンツにうんちをしてしまう子供	43
事例6 ウロウロする子供	45
事例7 乱暴な子供	47

参考図書・参考文献	50
-----------	----

東京都北多摩南部地域の発達障害相談窓口	51
---------------------	----

## 豆コラム

1 2012年現在の国際的な動き 「広汎性発達障害」から「自閉症スペクトラム障害」へ	2
2 アスペルガー症候群について	6
3 第四の発達障害（杉山登志郎氏による）	8
4 無意識にやっていませんか？こんなこと	9
5 10歳ごろまでに自分と向き合える勇気を育てよう！！	12
6 睡眠・食事・運動はなぜ大事？	19
7 「療育」ってなに？	20
8 良いところからアプローチ！	24
9 「この子、20歳になったらどうしているのかな？」	28